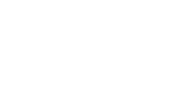


整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2021 -199	2021/11/	Correctly Calculating Ship Squatting	艦の沈み込み(スクワット)を正しく計算する	Proceedings 2021/11	 浅海域における船体の沈み込み(スクワット)を論じた技術的エッセイ。プロシーディングス誌11月号から。	岩崎洋一
2021 -200	2021/11/18	China's Third Type 075 LHD Starts Sea Trials	中国のTYPE 075 LHD 3番艦が海上公試	Naval News 2021/11/18	 3隻目のLHDが海上公試に出たようです。最終的に8隻建造のようです。LHDであれば、ドローンによるミッション・キルは期待できず、潜水艦による攻撃しか効果が無いのではと史料	川原梅三郎
2021 -201	2021/11/30	Navy Awards Austal Service Contract for Westpac LCSs	海軍は西太平洋におけるLCSのサービス契約をAustalと締結	2021/11/30 SEAPOWEP	 西太平洋には米海軍のLCSが複数隻展開中です。そのうちIndependence級LCSについて、米海軍は包括的な維持整備契約を建造会社であるAustal USAと締結しました。PBLに近い契約形態で、最大5年の長期にわたり完全に維持整備を丸投げした形です。記事を読むとAustal社の事業拡張に米海軍がいいように踊らされているような気がするの私だけでしょうか？	佐々木司
2021 -202	2021/12/	Plenty of Blame to Go Around	責任の所在を明らかにする	Proceedings 2021/12	 真珠湾攻撃時の太平洋艦隊司令長官キンメル大将の功罪を書いたエッセイです。80周年を前に、プロシーディングス誌12月号から。	岩崎洋一
2021 -203	2021/11/29	OSINT: Chinese Navy Type-094 Jin SSBN in Taiwan Strait	OSINT 台湾海峡の中国海軍Type-094晋級SSBN	H I Sutton Covert Shores 2021/11/29	 民間衛星画像が容易に入手できる時代になり、隠していても筒抜けです。我が国も同じなのですが。	川原梅三郎
2021 -204	2021/12/6	Iran's Newest Warship Has Fallen On Its Side In A Dry Dock	イランの最新型軍艦がドライドックの中で横倒しになっている	The War Zone 2021/12/6	 イラン海軍が建造中のコルベットがドック内で転覆しています。飛行甲板に人が取り残されるほど急激に転覆したので盤木の不具合ではないかと考えます。イラン海軍ではここ数年艦船大事故が頻発しています。イランではこれらの原因が他国の破壊工作ではないかとの憶測も出ているようです。	佐々木司
2021 -205	2021/11/8	The roadmap for naval electrification	海軍艦船電化ロードマップ	2021/11/8	 海軍は2年前に統合電力エネルギーシステム(NPES)開発ロードマップを発表した。今回、電磁カタパルトや各種装備が電化された新型空母の任務派遣が迫る一方で、ズムワルドの建造は3隻で終了したり、艦載レールガンの開発が中断される中で、BreakingDefenseがこのロードマップについて質問し、海軍が回答した内容について記事にしたものである。米海軍は、先進レーダーやレーザー兵器、ストカスティック電子戦対応のために電力貯蔵装置等の開発を終了している模様。また、DDG51Flight IIIではSPY6用DC1000V二次電源装置の開発も終了している。近い将来に必要な十分な艦内電力を確保する技術として、ハイブリッド推進技術については海自も実績があるが、先進武器に対応可能な艦内電源インフラ技術(直流配電や大容量蓄電技術)の早急な開発が必要と思われる。	清水隆
2021 -206	2021/11/10	U.S. Navy Awards Contract to GE Power Conversion for Military Sealift Command Vessel Maintenance, Potentially Worth \$125MM	米海軍が海上輸送司令部下の艦船の維持整備のためにGE Power Conversion社と契約、1億2500万ドルの潜在的価値がある。	2021/11/10	 海上自衛隊においても艦船ガスタービンのPBL契約が推進されつつあります。米海軍の海上輸送司令部下の補給艦など35隻の推進システムなどの維持整備の契約をGE Power Conversion社と交わしました。かなり規模が大きく5年間に渡る発注時期/発注金額未確定(IDIQ)契約であり、技術的な内容とは離れるかも知れませんが、状況に応じて契約方式を選択が可能な制度も盤石な技術基盤を維持するうえでは必要ではないかと思料します。	高木康之

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2021 -207	2021/11/11	GE to maintain power and propulsion systems aboard MSC vessels	GEはMSC(海上輸送司令部)の艦船に搭載された動力および推進システムの維持整備を実施	Naval Technology 2021/11/11	 GE Power Conversion社のリリース(11月10日)を受けてNaval Technologyが掲載した記事です。内容的に重複しますが、合わせて翻訳いたしました。	高木康之
2021 -208	2021/12/15	'Porcupines' at sea: British lawmakers sound the alarm on the Royal Navy	海の「ヤマアラシ」: 英国国会議員が英国海軍に警告を発す	DefenseNews 2021/12/15	 英国国防委員会が、現状の海軍艦隊規模は十分ではなく、もっと艦隊規模を拡充すべきとの報告書を作成しました。現状の艦隊は「よく防御されているが攻撃力に欠ける海のヤマアラシ」であると指摘しています。Type45における主機等の決定的不具合による早期除籍(艦齢18年!)がその原因の一つとなっているようです。代替艦の計画にも疑問を投げかけています。	佐々木司
2021 -209	2021/12/15	Marines Keeping AAVs Out of the Water Permanently	海兵隊はAAVを永久に水から隔離	USNI News 2021/12/15	 昨年夏、水上航行中に発生したAAVの死亡事故を受け、海兵隊はAAVの水上運用を全面停止しました。運用の76%は陸上で行うので問題ないと思いますが、揚陸艦から陸上に至るまでは海上航行しなければならぬのでは?という疑問がわきます。同じ車両を海上機動のために導入した陸自の動きがどうなるか気になるところです。水陸機動団の要となる装備ですので。	佐々木司
2021 -210	2021/12/2	Seaboats without sailors – Royal Navy autonomous RIB development	乗員のいない船 - 英海軍自律型RIB開発	NAVY LOOKOUT 2021/12/2	 英海軍が2022年の実用化を目的に開発している自律型RIBの動向です。疲れ知らずの無人艇は、燃料ある限り行動できますので、乗員負担を大きく軽減できると思われます。また、危険な任務もこなせるようになると、人的被害を局限することにも貢献すると思われます。一方で、画像認識による識別能力や揚収要領が課題として挙げられているようです。画像認識は、スバルのアイサイトのような技術と融合したら、信頼性の向上に繋がるのではと、浅はかながら思いました。なお、当該RIBには機関砲が搭載されていますが、現時点、英海軍は全て母船の人間の制御下にて、使用することになっているようです。今後も無人機の開発動向には注意を払っていきます。	本山泰之
2021 -211	2021/12/14	How can fewer frigates make a more effective Royal Navy fleet?	僅かなフリゲート艦で如何により効果的な英海軍艦隊を作ることができるでしょうか?	NAVY LOOKOUT 2021/12/14	 英国及び英海軍は、現在の国際環境において、海軍力増強しかるべしと認識しつつも、厳しい国家財政、国内製造基盤の現状を見つづき苦悶している模様です。同国庶民院国防特別委員会は、英海軍艦船の装備のアンバランスを指摘するとともに、海軍を約2倍にすべきと結論付けました。一方で、現状としては、既存艦は当初計画より長期の運用を強いられるとともに、稼働率の低下、維持整備工事の遅延や経費増大に悩まされているようです。本記事では、国力や産業基盤の実状に合わない軍備増強を目指すよりも、経験豊富な乗員の確保・維持、予備品、港湾基地施設、および後方支援への投資を優先すべきであり、Type 26、Type 31などの既存の建造計画の迅速化と戦力化に注力すべきと提言しています。これは、地に足が着いた考察であると、感心させられました。ちなみに、本記事が発表された時点で、「2021年秋」に発表予定だった国家造船戦略の「リフレッシュ」は、発表が遅延している模様です。また、巻末には、補遺として、庶民院国防特別委員会の報告書要約のみを掲載しました。	本山泰之
2021 -212	2021/12/21	Congress Has Already Allocated Tens Of Millions For USS Connecticut Repairs	議会はConnecticutの修理のため、すでに数千万ドルを計上した。	The War Zone 2021/12/21	 米議会は海山に衝突して艦首部を損傷した原潜Connecticutの修理費として5000万ドルを承認したようです。しかし、かつてSan Franciscoが同様の事故を起こした際の修復費が当初見積りより倍かかったことから、記事ではこの経費が「手付金に過ぎない」と批評しています。そのSan Francisco修復時に同型艦の艦首部をそのまま移植していたのには驚きました。	佐々木司